

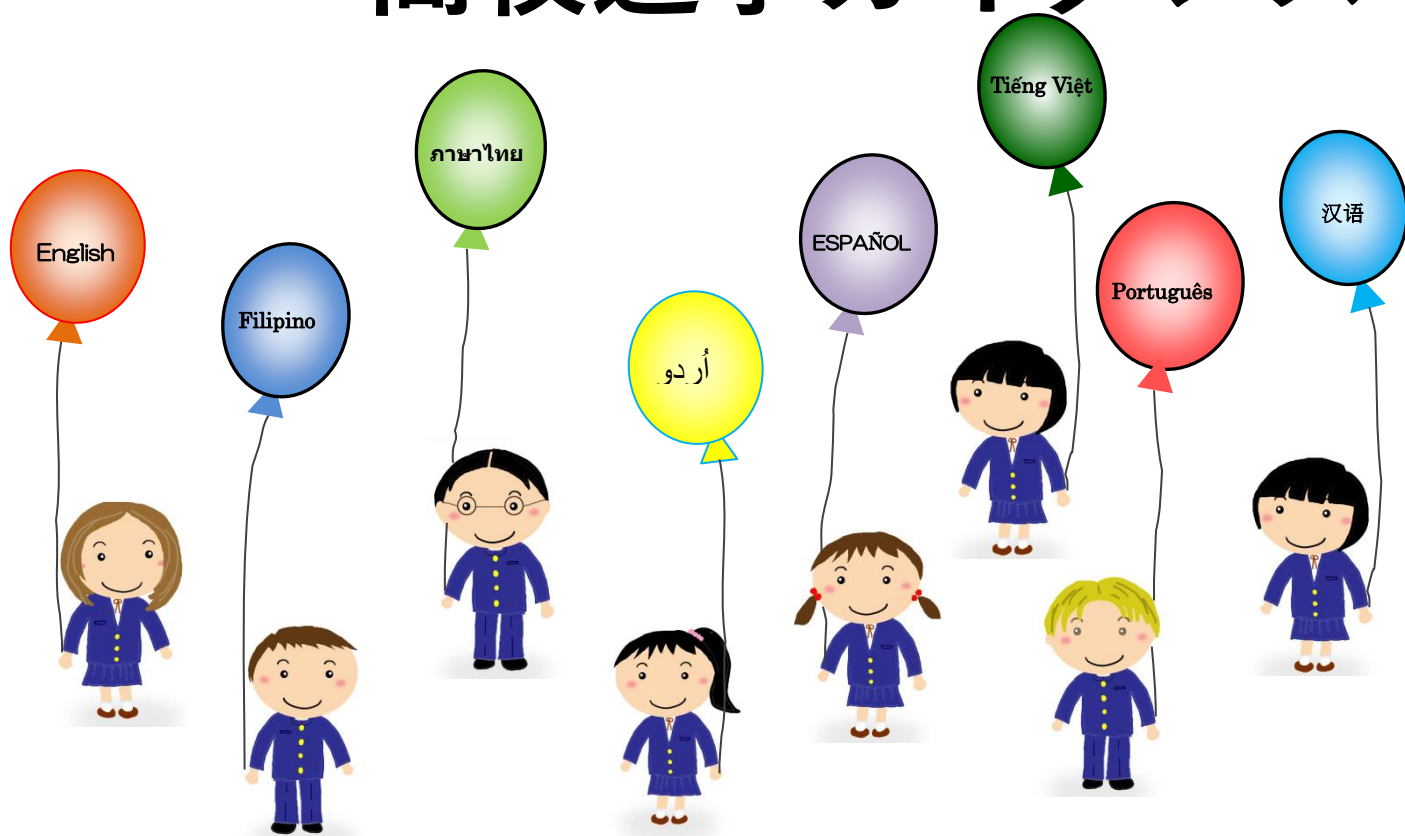
日本語版

た げ ん ご
多言語による

とちぎけんばん
栃木県版

2025

こ う こ う し ん が く
高校進学ガイダンス



うつのみやだいがく ハ ン ズ じぎょう
宇都宮大学HANDS事業

たげんご こうこうしんがく 多言語による高校進学ガイダンス

1. にほん がっこう
日本の学校のしくみ

2. とちぎけん こうこう
栃木県の高校

3. がくひ
学費について

4. にゅうがくしけん
入学試験について

24歳

22歳

18歳

せんもんがっこう
専門学校

15歳

こうとうせんしゅう
高等専修
がっこう
学校
ねん
【2～3年

12歳

しょうがっこう
小学校【6年】

義務教育

6歳

ようちえん
幼稚園

ほいくえん
保育園

しょう ちゅうがっこう こうこう
 小・中学校と高校のちがい

しょう ちゅうがっこう ぎむ きょういく こうこう ぎむ きょういく こうこう はい にゅうがくしけん う
小・中学校は義務教育ですが、高校は義務教育ではないので、高校に入るためには入学試験を受けな
ければなりません。高校では、成績が悪かったり欠席が多かったりすると進級や卒業ができなくなる
ばあいがあります。

☺ ^{こうこう}高校を^{そつぎょう}卒業すると…

大学・短期大学や専門学校に入学するための試験が受けられます。

ほとんどの企業が高校を卒業することを採用条件にしているので、**中学卒業より就職の幅が広がります。**
高校3年間で資格をとることや自分の適性について考えることが大切です。

2. 栃木県の高校

公立高校と私立高校があります。公立高校には、全日制・定時制と通信制があります。
 高校の学科には、大きく分けて 普通科・専門学科・総合学科があります。

(1) 全日制・定時制・通信制について（県立高校の例）

	全日制 (59校)	定時制 (8校)	通信制 (2校)
通学日	毎日 (月～金)	毎日 (午後から 夜間)	毎日 (月～金) フレック スハイスクール
授業時間	45～50分授業、6 ～7時限	45分授業、4～6 時限	午前・午後・夜間の3部制 それぞれ45分授業、4～6 時限
卒業までの 基本的年数	3年	3年以上	
学科 (次ペ ージ参照)	普通科 専門学科 総合学科	普通科 専門学科 「工業」 「商業」のみ	普通科
その他		給食あり	夜間部のみ給食あり



学校・学科を選ぶときのポイント

- (1) 自分の興味・関心、能力・適性、性格について考え、自分自身の可能性を探る。
- (2) 将来、自分がどんな職業につきたいか、どんな職業についたらよいかを考える。
- (3) 高校で何を学びたいのか考える。
- (4) 自分の希望する学校や学科の特色や学習内容を調べる。
- (5) 高校を卒業したあとどんな進路があるか調べる。



進路を考えるとときは

まず、自分で考え、保護者と話し合い、先生と相談して決めよう！

夏休み・2学期からの一日体験学習や学校説明会（特に私立高校）を利用し

て必要な情報をあつめよう！ 私立高校の場合は、自分で事前にインター

ネットで申し込んだり、中学校に申し出たりします。

(2) 栃木県の公立高校における各学科の特色について

普通科		学習の中心が共通教科に置かれている。多くの普通科では、2年生から文系・理系あるいは様々なコースに分かれる。
専門学科	商業に関する学科	主に、会計帳簿の作成、ビジネスに必要なパソコン操作や英会話、商品流通のしくみなどを学ぶ。
	工業に関する学科	機械、電気、建築、コンピュータプログラミングなどの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	農業に関する学科	農業経営、生物工学、食品化学、農業土木、園芸などの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	水産に関する学科	魚類やその他の水産生物の増養殖技術、水産物の加工、流通を学ぶ。県内には馬頭高校1校のみ。
	家庭に関する学科	服飾デザイン、生活設計、食物文化、栄養食物、生活文化などの分野がある。これらの専門技術を実験や実習を通して学ぶ。
	福祉に関する学科	介護技術や社会福祉制度などが学べる。
	理数に関する学科	数学や理科を専門的に学べる。県内には小山高校1校のみ。
	体育に関する学科	スポーツについての専門知識を学ぶとともに、専攻実技や指定運動部で実際に実技を学べる。県内には小山西南高校1校のみ。
総合学科		単位制授業で、興味・関心に応じてコースを選択し、100科目の中から授業を選ぶ。

😊 専門学科の多くでは、それぞれの学科の学習に合わせて資格の取得を目指します。

😊 高校での授業は、日本語で行われます。特別な対応は、ほとんどありません。

😊 栃木県の公立高校では学校の統合や学科の変更などが進められています。あなたの住んでいる地域の高校に関する詳しいことや最新の情報は中学校の先生に教えてもらいましょう。

😊 私立高校の学科や内容については、各私立高校のパンフレットで確認しましょう。

通信制や定時制のある私立高校もあります。

次のページも見てくださいね!



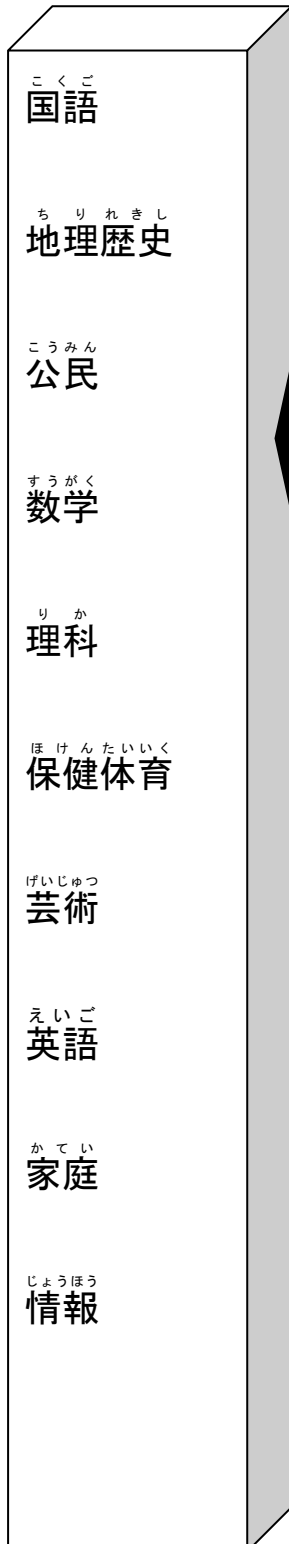
(3) 普通科・専門学科・総合学科で学ぶ教科や科目について

ふつうか
普通科

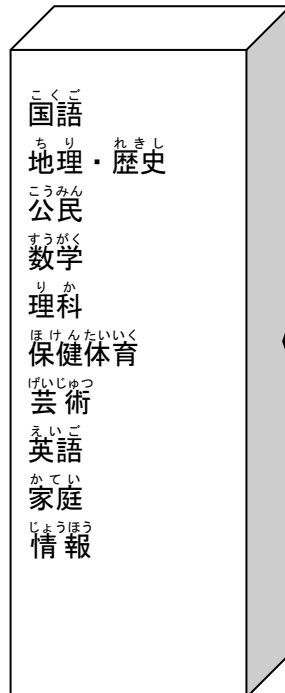
せんもんがつか
専門学科

そうごうがつか
総合学科

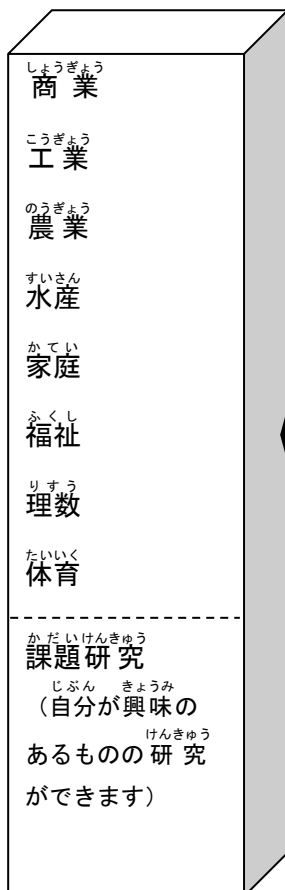
自分の勉強したい専門
学科のある高校に入学
します



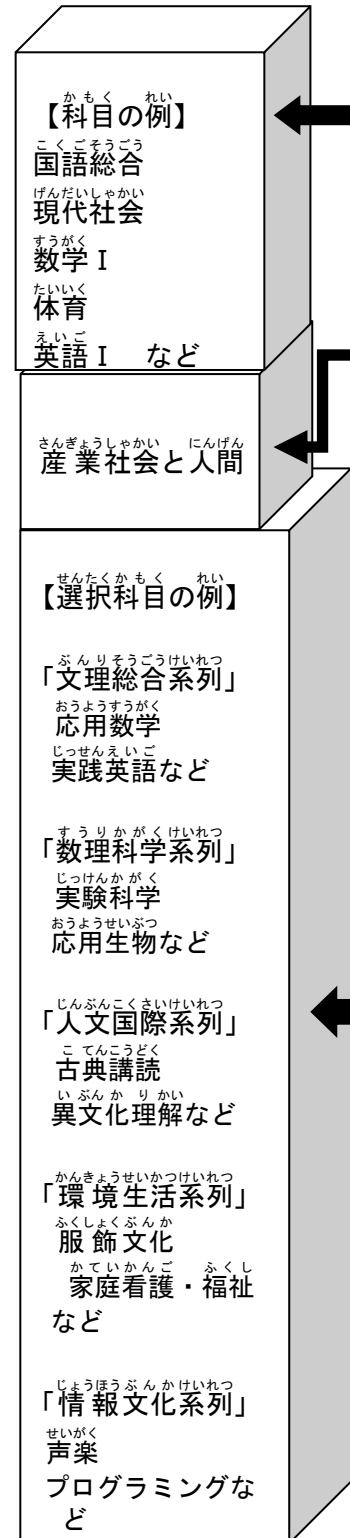
共通教科



共通教科（共通して学ぶ科目）



専門に関する教科・科目



必修科目・原則履修科目

選択科目

3. 学費について

(1) 入学するための費用

公立高校と私立高校は費用の面で大きな違いがあります。

	公立高校			私立高校
課程	全日制	定時制 (単位制)	通信制 (単位制)	全日制 (例)
入学 検定料	2,200円	950円	なし	12,000円～25,000円
入学金	5,650円	2,100円	500円	100,000円～220,000円
制服・体育 着など	40,000円～ 60,000円	15,000～	なし	70,000円～150,000円
施設拡充費	なし	なし	なし	100,000円～
およその 合計	50,000円～	18,000～	500円	300,000円～

私立高校などは、学校によってそれぞれの費用がちがいますので、詳しいことや最新の情報は学校のパンフレットをよくみてください。

特に学校の制服に関しては、公立高校も私立高校も学校によって費用は大きく異なります。

(2) 入学してから1年間にかかる費用

	公立高校			私立高校
	全日制	定時制 (単位制)	通信制 (単位制)	(全日制)
授業料	9,900円/月 (全日制の場合) ※2			300,000円～ ※2
教科書・教材費	10,000円～70,000円 (学校・学科によって異なります。)			
諸費 ※1	130,000円～	30,000円～	10,000円程度	250,000円～
給食費	なし	学校による	なし	なし

※1 諸費とは、PTA会費、生徒会費などで、集める項目は学校によって異なります。他に、修学旅行費などもあります。たいてい1年生から積み立てがはじまります。

※2 高等学校等就学支援金という国からの支援があります。公立高校は年額118,000円、私立高校などは年額396,000円まで授業料の支援を受けることができます。(家族の収入の額などによっては、支援の対象にならない場合もあります。)

(3) その他にかかる費用について

* 部活動費

部活動に入った場合、ユニフォーム、試合や大会参加などの費用がかかります。

* 交通費

自宅から遠く離れた学校に通う場合、公共交通機関を利用します。例えば電車通学の場合、定期券代が必要となります。

(4) 学費の支払いが困難な場合

* 奨学金制度の利用

高校に在学する生徒で勉学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な生徒に対して修学資金を貸してくれる制度があります。

奨学金には、政府、自治体あるいは民間のものなどいろいろな種類の奨学金があります。お金を返さなくてもいいものもあれば、社会人になったらお金を返さなければいけないものもあります。いずれの奨学金も受けられるか否かは生徒自身の学業成績や家庭の経済状況などによります。また、申請するためにはいくつかの書類をそろえなくてはなりません。奨学金制度の利用を希望するかたは、中学校の先生または入学先の高校の先生に相談してください。



高校に入学したら…

義務教育の小中学校とは違って、高校は一度学校をやめたら戻れません。簡単にやめなくていいものもあれば、社会人になったらお金を返さなければいけないものもあります。いずれの奨学金も受けられるか否かは生徒自身の学業成績や家庭の経済状況などによります。また、申請するためにはいくつかの書類をそろえなくてはなりません。奨学金制度の利用を希望するかたは、中学校の先生または入学先の高校の先生に相談してください。



入学試験を受ける手続き(願書などの提出や、受験料の準備など)はそれぞれの中学校で示されます。提出日までに準備しましょう。

また、ほとんどの栃木県内の私立高校では、インターネットで受験の手続きをします。あなたの受験する高校の手続き方法については、早めに学校の先生に教えてもらいましょう。

にゅうがくしけん 4. 入学試験について

とちぎけんりつこうこう にゅうがくしけん (1) 栃木県立高校の入学試験のタイプ

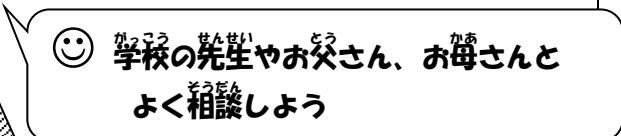
	じゅけんしかく 受検資格	しけんないよう 試験内容
いっばんせんぱつ 一般選抜	にほん ちゅうがっこうそつぎょう 日本の中学校卒業 (見込み)、外国で9 ねんかん がっこうきょういく う 年間の学校教育を受けた人など。	① がくりよくけんさ (5教科) ② ちょうさしよ がくしゅう せいせき ぶかつ かつやく 調査書(学習の成績、部活での活躍など) このほかに面接試験を行うこともあります。
とくしよくせんぱつ 特色選抜	にほん ちゅうがっこうそつぎょう 日本の中学校卒業 (見込み)、外国で9 ねんかん がっこうきょういく う 年間の学校教育を受けた人などで、志願する こうとうがっこう しめ しかくよう 高等学校が示す資格要件にあてはまる人。	① ちょうさしよ 調査書 ② しがん りゆうしよ 志願理由書 ③ めんせつしけん 面接試験 ④ さくぶん しょうろんぶん がっこうどくじけんさ 作文か小論文か学校独自検査
かいがいこくしゃ 海外帰国者・外国人等の 受検に関する特別措置	とくべつ A特別 せんぱつけんさ 選抜検査	いっぱんてき めんせつ ちょうさしよとう 一般的には面接と調査書等ですが、学力検査 および作文を行うことがあります。
	とくべつ B特別 そち 措置による がくりよく 学力 けんさ 検査	がくりよくけんさ ちょうさしよとう 学力検査と調査書等のほか作文及び面接があり ます。学力検査は、いっぱんにゅうし きょうか たい 一般入試の5教科に対し て3教科(国・数・英)となっています。

※ かいがいこくしゃ がいこくじんとう じゅけん かん とくべつ そち けんりつこうこう じゅけん きぼう ばあい
海外帰国者・外国人等の受検に関する特別措置で県立高校の受検を希望する場合、
たん にん せんせい そうだん
担任の先生とよく相談してください。

こうりつこうこう しりつこうこう にゅうがくしけん おお ちが
公立高校と私立高校では、入学試験においていくつかの大きな違いがあります。

こうりつこうこう 公立高校	ぜんにちせいこうこう こう じゅけん じゅけん ひ おな ひ ていじせい 全日制高校は1校しか受検できません(受検日が同じ日です。ただし、定時制、 つうしんせい じゅけん ひ ちが じゅけん ぐうかく とくべつ りゆう かざ にゅうがく 通信制は受検日が違うので受検できます)。合格したら特別の理由がない限り入学する ことになります。	
しりつこうこう 私立高校	なんこう じゅけん じゅけん ひ がっこう ちが 何校でも受検できます(受検日が学校によって違います)。	
こうこうによつ て、試験の しゅるい なまえ 種類・名前や ほうほう 方法がちがいま す	たんがん 単願	ぐうかく がっこう かなら にゅうがく やくそく じゅけん ほうほう 合格したらその学校に必ず入学することを約束して受験する方法 です。合格したあとで、他の高校を受けることはできません。
	へいがん 併願	ぐうかく がっこう にゅうがく やくそく かたち じゅけん ほうほう 合格してもその学校に入学することを約束しない形で受験する方法 です。公立高校も受検することができます。
	うんどう がくしゅう とく すぐ じっせき ゆう ばあい とくたいせいじゅけん で き * 運動や学習において特に優れた実績を有している場合は、特待生受験が出来る 場合があります。特待生受験は一般的に単願です。(合格すると授業料などの一部 または全額が免除となります)	

とちぎけんりつこうこう とちぎけんないしりつこうこう にゅうがくしけん
 (2) 栃木県立高校と栃木県内私立高校の入 学試験までのスケジュール (2025～2026)

	にっぺい 日程
11 月	3者面談で志望校(受験校)の相談 
12 月	②私立高校一般入試 ・願書提出 11月～ ①私立高校推薦入試 ・願書提出 11月～
1 月	・入試 1月～2月 ・合格発表 (学校により二次募集あり) ・入試 1月がほとんど ・合格発表
2 月	③公立高校全日制特色選抜 ・願書等提出 (1月29日～1月30日) ・入試 (5日～6日) ・合格者内定 (12日) ④公立高校全日制一般選抜 ・願書等提出 (18日～19日)
3 月	・入試 (5日) ・合格発表 (11日) ⑤公立高校定時制フレックス特別選抜 ・願書等提出 (24日・25日) ・入試 (5日) ・合格発表 (11日) ⑦公立高校通信制課程 ・願書等提出 (12日～25日) ・入試 (面接) 20日か26日 ・合格者発表 (27日) ⑥公立高校定時制一般選抜 ・願書等提出 (11日～13日) ・入試 (17日) ・合格者発表 (23日)